



# 大砂土中だより

はつ らつ

## 澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.9 令和5年1月6日号

新年を迎えて

校長 上続 昌司

新しい年を迎えました。保護者・地域の皆様には、健やかな新年をお迎えになられたことと存じます。新しい年を迎え、教職員一同、心を新たに子どもたちの健全育成に全力で取り組みたいと思います。3学期も本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

さて、12月はサッカーワールドカップ日本代表の活躍に一喜一憂しましたね。皆さんはどんな感想をもちましたか？悔しさ、勇気、希望、夢、他にもいろいろな言葉が浮かんでくると思います。私は勇気を与えてもらえたと強く感じています。大会前メディアやネットでは「予選突破は難しい」という予想が大半でした。しかし、初戦のドイツに逆転勝利し、次戦こそ負けたものの強豪スペインにも勝利した時に「どんな高い壁であっても乗り越える方法はある」事を学びました。一人ひとり個の力は劣っていたとしても、チームとしての力は勝っていた。一人ひとりが自分の役割を自覚し、自分を信じ、仲間を信じて闘った結果が勝利へと繋がった。長い歴史の中で、先輩たちが悔しい思いをしてきたからこそ、その闘いを振り返り、何が足りなかったのかを見極め努力してきた。何度も何度も跳ね返されてきた過去を、しっかりと分析しチームを創り上げ、勇気をもって闘ったからこそ成しえた結果であったと感じました。チームとしての大きな目標達成こそ叶わなかったものの、見ている人々の心を揺るがせ、最後まで諦めずに挑み続ける素晴らしい姿を示してくれました。また、試合後選手自らロッカーを清掃し、机には「ありがとう」のメッセージと折り鶴が飾られていたことと、現地で応援していたサポーターも観客席のゴミを拾う映像が世界中で話題になっていました。そして、心に残った言葉が「新しい景色」です。まだ見ぬ景色を想像し、そこに向かおうとする素敵な言葉だと思います。

節目となる年の初めに生徒の皆さんも新しい景色（未来）を想像し目標を定め、どんなに高い壁であっても簡単にあきらめないで挑んでいく決意を心に刻み、取り組んでほしいと思います。そして、何事にも感謝の気持ちを忘れることなく生活していきましょう。大砂土中生の大いなる活躍を期待しています。